

〔様式 1〕

協働による社会課題解決の取組の内容

取組の名称	さいさい子ども食堂
28 年度募集テーマ	<input checked="" type="checkbox"/> 『笑顔』 <input checked="" type="checkbox"/> 『場づくり』
テーマとの関連	<p>* 孤食を少しでも減らそうという目的と地域での居場所作りという両方の目的で子ども食堂を始めました。まさに毎回、たくさんの子どもたちが、この場所で食事をするにより、様々な交流が生まれています。</p> <p>* 自然に子どもたちから出た「みんなで食べるとおいしいね」という言葉と、とびきりの笑顔に、スタッフ一同、継続の力をもらっています。</p> <p>* 普段の土曜日は、一人でご飯を食べている子が、子どもだけで、参加している場合もあり、ここに来て、他の子どもやスタッフ、ボランティアと交流する中で、笑顔になっています。</p> <p>* 多子世帯の参加が複数あります。他の家族と交流したり、スタッフと話をすることで、保護者の方にとっても、子育ての中でほっと出来る場にもなっていると思います。</p> <p>* 特別養護老人ホームのスペースを借りていることで、施設の高齢者に面会に来た家族の方が、普段は家で一人なので、「さいさい子ども食堂での食事をして帰る」という方も増えてきています。楽しみに参加して下さるとい方もいます。大人の孤食対応も結果的に対応できています。</p> <p>* 高齢者の方が食後、紙飛行機の折り方を若いお母さんに教えているというほほえましい交流も生まれています。子どもだけでなく、世代間交流の場作りにもなっており、様々な方がさいさい子ども食堂に来られ、笑顔で帰って行かれます。今回のテーマである、笑顔と場作りに大いに役立っていると感じています。</p>
目的・解決をはかりたい課題の状況・目標	<p>* 目標 1 孤食を少しでも減らす。 町内会長さん達から、夜遅くまで家に帰らず、公園や神社で遊んでいる子どもたちがいる、近所の方々から、スーパーでおにぎりやお弁当などを買って公園で食べて散らかしたまま朝、学校に行っている子どもがいるなどの話を伺いました。孤食や食生活の乱れの話の伺い、そういう声から子ども食堂をしては？との高まりがあり実施しています。普段は土曜日の昼、一人だという子どもが食べに来たり、何杯もおかわりしたりと、ここでの食事を楽しみしてくるようになりました。</p> <p>* 目標 2 世代間の交流・地域の場作り 学生ボランティアや地域の高齢者、スタッフなどとの交流で学校では見せない顔を見せたり、お話をしてくれる子どもも出てきました。たくさんの方が係わる中で、つながりが見える地域作りを考えています。</p> <p>* 目標 3 子どもの貧困の解決の一助 貧困家庭だけにターゲットを絞って啓発をしていますが、継続して行くことで、必要な子どもたちにつながり、子どもの貧困の解決の一助となればと思っています。小学校と連携し、子どもたちの様子を見に来ていただいたり、情報交換する中で、小学校の先生達から見て気になる家庭の子どもへの参加も増えてきており、小学校からも感謝されています。</p> <p>課題・本当に必要な子どもたちにとって回数を増やすことや、朝食、夕食などの提供も課題だが、経済的にも、人力的にもまだ月一回の継続が精一杯です。 小学生は子どもたちだけで学区外に出てはいけないルールがあるので、各小学校区で開催することも課題。</p>

<p>取組の内容</p>	<p>1 取組の対象：対象地域、対象者、対象人数等 西大寺中学校区の中学生、西大寺小学校区の小学生、その保護者、西大寺地域に住む大人の方々。 毎回30人から40人程度</p> <p>2 取組の担い手：取組への参加団体、参加人数等 さいさいサポーター 20代から70代までの20人 当日だけのボランティア登録参加・・・18名 岡山中央福祉会中野けんせいえん・・・場所の無料提供 西大寺小学校・・・チラシ配布 見守り 情報交換 西大寺中学校・・・チラシ配布 見守り 情報交換</p> <p>3 活動内容、実施方法などを具体的な活動ごとに箇条書きでお書きください。 昼食作りのための食材集め 地域の町内会長や地域の畑を作っている人、元教育関係者などから毎回旬の野菜の提供あり。 食材確保のための募金集め 一口1000円募金で 40人からいままで募金を集めている 食事のための買い物、準備 毎月第二土曜日に昼食を提供（中学生まで無料、大人は300円） 昼食作り 子どもたちの宿題のサポーター・・・学生2人がボランティアで参加 食後のアフター遊び 絵本の読み聞かせ・・・地域の文庫がボランティアで参加 バルーン、ミサンガ作り・・・地域の方がボランティアで参加</p> <p>実施日1週間前に打合せ チラシ作り、配布 配布は全面小中学校が協力してくれている 他団体との交流・勉強・・・赤磐市の一般社団法人子どもの家、見学・懇談 サポーターの懇親会・・・学校の先生方も数人参加して下さり懇親になった。</p> <p>当日にバザー、野菜や子ども服 財源確保のため シンボルマークのサイのイラストの名前を子どもたちから募集・投票で「さいさいくん」に決定 「さいさいくん」のラインスタンプ作成、販売に向けて準備中</p> <p>4 取組をWEB等で告知している場合はそのURLをお書きください。 アドレス saisai_kds@yahoo.co.jp Facebook https://facebook.com/kidsdhsaisai/ Instagram https://www.instagram.com/saisai_kids_dh</p>
--------------	--

<p>協働の体制</p>	<p>◎協働する各団体の役割分担や、団体間の目的の共有の仕方、対等な協働関係を築いていくための工夫など</p> <p>岡山中央福祉会・中野けんせいえん・・・場所使用の無料提供・キッチン等光熱費も無料提供 施設長がサポーターに入っており、情報交換や高齢者の家族や職員にも協力啓発を求めている</p> <p>西大寺中学校、西大寺小学校・・・開催日前には学校でチラシ配布、当日も時間があれば、校長先生や生活指導の先生がのぞいてくれ子どもたちの情報共有を行っている</p> <p>毎回、実施日1週間前に打合会をして各団体に情報共有している。 チラシを持って行くときに学校と情報交換をしている。</p> <p>西大寺公民館・・・公民館通りという公民館の会報にさいさい子ども食堂のことを紹介してくれ 地域の方とのつなぎ役をしてくれている。野菜の提供のお願いやストックなど。</p> <p>西大寺ふれあいネット・・・役員会で協力の訴え、チラシの配布など</p>
<p>取組の工夫 取組の特徴</p>	<p>◎地域資源や人的資源の活用など工夫した点 町内会、ふれあいネット（婦人会） みんなの劇場、医療生協、岡山中央福祉会、それぞれの役員会で説明とお願いをさせていただいた。チラシを持って、小学校、中学校、幼稚園、保育園、民生委員、主任児童委員、福祉事務所子ども相談主事などに挨拶とお願いにまわる。</p> <p>◎取組の特徴やアピールポイント 子どもたちの笑顔のために力を貸してほしいと、現実的に孤食の子どもが増えていることなどを報告し、出来ることを協力してほしいと訴えた。また善意の一口1000円カンパや野菜などの物資の提供もお願いし地域の方が40人以上協力してくれている。 財源確保のため、子ども服や野菜のバザー、さいさい子ども食堂のロゴマーク「さいさいくん」のラインスタンプを作り登録中。ラインの審査に通ると販売できる。 特別養護老人ホームの地域交流センターをお借りしていることで、老人ホームの入居者に面会に来た家族が、普段家では孤食なので、さいさい子ども食堂で食事をしたり、反対に子ども食堂に食べに来た子どもたちが、自分の祖父母が入っていると施設に面会に行くなどの新たな交流が生まれている。</p>
<p>成果・効果</p>	<p>◎取組を通じて得られた成果や、解決した社会課題の状況、また関連した地域への効果や変化</p> <p>* 子どもがチラシを握りしめてきてくれるなど、「一人でご飯よりもここで食べたい」という強い意志で来てくれる子どもも何人かいて、まさに求められていた活動だと思った。</p> <p>* 野菜の提供者・・・最初2人から 10数人に増えた。中には子ども食堂のために野菜を作ると宣言してくださる方も。</p> <p>* つながりあえる・・・何度も来てくださる子どもたちとつながり、町で会っても声かけられる間柄になる。</p> <p>* サポーターも20人に増え、当日だけのボランティアの方々も多く参加してくれるようになった。多子世帯の子育ての悩みなどつながることで安心感があると感謝される。</p>
<p>今後の活動展開 など展望</p>	<p>◎成果の普及や今後の活動展開など展望</p> <p>毎回30人以上の子どもたちが来るようになっていきます。アフター遊びの交流も楽しみに参加してくれています。今は小学生が多く小さい子を連れた親子連れが多い。</p> <p>今は小学生が中心なので、中学生の孤食に取り組むためには、朝や夜などの食事の提供が必要になると考えています。当面屋で定着したら、回数を増やすとか、朝や夜などの検討も将来的には考えないといけない時期が来ると思っています。</p>

さいさい子ども食堂の様子

* 様子

月一回 第二土曜日を基本に、特別養護老人ホーム中野けんせいえんの地域交流センターをお借りし開催しています。

↓シンボルマークさいさい君のお出迎え



↑スタッフ記念撮影

***毎回 30人以上の子どもたち、親子連れが参加。**

アフター遊びに、バルーンアーティストや、文庫の方などが次々にボランティアで来てくださっています。 夏はソーメンチャンプルー





10月はハロウィンカレー

*たくさんのボランティアに支えられています。

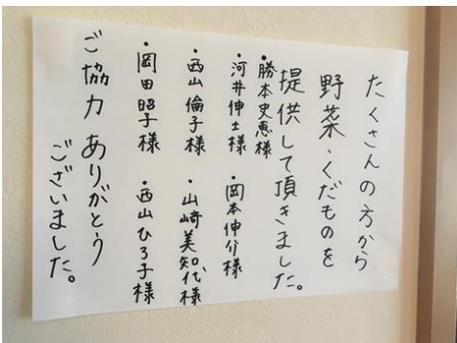


↑城東台かるがも文庫さんがボランティアで読み聞かせに。



←毎回参加して下さる女子大生ボランティア

西大寺中学校出身で地元のために何かしたいと！



←野菜の提供者を毎回掲載

*マスコミにとりあげられる



山陽新聞

テレビせとうちなど

*思いがけない交流が。

↓一人で食べに来た高齢者が、若いママに紙飛行機の作り方を伝授。
男の子ばかりのお母さんで感謝される。



← 子ども連れてボランティアに来てくれたパパ

↓様子を見に来た、校長先生が宿題を見てくれました。



まだまだ、始まって 5 ヶ月、手探りですが、毎回きっちりミーティングしてがんばっています。



←毎回の打合会

↓さいさい子ども食堂のシンボルマーク

さいさいくん。若いスタッフが、ラインスタンプ作成中。

